

5/14 午後

安倍晋三元首相が「日本銀行は政府の子会社」と述べて国債を大量に買わせてもいいと発言したことが批判を浴びています。アベノミクス（安倍政権の経済政策）の破綻を開き直り、財政と金融のルールを踏みにじった暴論です。

本音あらわれた「子会社」

転わざもな／＼日銀は紙幣を発行する中央銀行です。通貨の発行や金額の調整はあたって「物価の安定」を図ることが日銀法で定められています。政策を誤つてインフレなどを招けば、被罰を受けるのは國民です。政権の恩恵と金融政策が左右されるなどよ／＼日銀の「自主性」の尊重が司法に明記されています。それを踏みにじり、日銀を部分

主張

安倍氏の日銀発言

の意のままに動かせる機関と扱ってきたのが安倍氏です。「子会社」は本音のあらわれです。安倍氏が導入した政策は岸田文雄政権も継承しており、元首相の発言と見過さずわけとはできません。

安倍氏は第2次政権発足前、「輸送機をグルグル回して無制限

運送に追いつみ、黒田東彦氏を総裁に任命して「異次元の金融緩和」を行いました。

日銀が「ものの物価上昇」を目標に、国債を大規模に買い入れてお金の供給を増やせば、物価が上がり、それに伴つて賃金も上がる、「経済の好循環」が生まれる一連の戦略です。

アベノミクス破綻に反省なし

におれを雇る」「建設国債を日銀

といふひとでした。

に全部賣つてしまひ」と公言しました。これが起きたのは「好循環」で、は政政策第2の条件で乗

じられてこます。日銀は、直接の手段として市場から国債を賣り、

供給した大量のお金は株式市場に流れ込み、株価は2倍以上上がりま

す。しかしこれほど大規模な国債償還力を要すべきです。

自ら方明日銀総裁を任期満了前の

は辞しました。

日銀が保有する国債は200兆

円を超えて、国の借金のほぼ半分で

す。日銀が大量の国債を抱えることになります。大規模な金融緩和は日銀を超過して、物価を押し上げて国民を苦しめてこます。いまはわれる危険性などが経済、金融専門家から警告されています。

異次元緩和を転換せよ

黒田総裁は異次元緩和を見直すとしろとか緩和の「出口」を議論するにじゅうぶん押さえてこます。異次元緩和は安倍氏が日銀を「子会社」扱いして始めた政策です。政府が

入れているとして正當化してしまった。日本共産党は当初から異次元緩和の危険性を指摘し、無謀な政策に反対してきました。間違った金融政策をただす上で月の参議院選挙での審判が重要です。